

# アジア人財資金構想（日本の食の安全）留学生特別コース入学式

（平成21年10月9日（金）於：香川大学農学部）

四国経済産業局 産業人材政策課

経済産業省と文部科学省では、日本企業のグローバル展開を支援するため、海外から招聘した優秀な留学生を、産業界で活躍する優秀な人材に育成する「アジア人財資金構想」を実施しています。

この構想に基づき、香川大学では、地域の強みを活かして、国内の主要冷凍食品メーカー8社とコンソーシアムを形成し、全国で初めて、「日本の食の安全」をテーマとする留学生の人材育成に取り組んでいます。本コースの一期生として、タイから4名、中国から1名、計5名の留学生を迎え、10月9日（金）に香川大学において入学式が挙行されました。

本事業では、産学が連携して、食の安全確保に必要な能力を、食物の生産から収穫・加工・流通・販売に至るまで総合的かつ体系的に身につけるとともに、経営感覚をも身につけた人材を育成することにより、日系企業が海外展開する上で極めて重要な、現地との橋わたしや現地生産拠点におけるリーダーとなりうる幹部人材を確保することを目指しています。留学生達は、今後2年間、本プログラムを受講し、日本企業への就職を目指します。

（注：コンソーシアム参加企業）

ニチレイフーズ、加ト吉、味の素冷凍食品、オープン（観音寺）、伊勢丸食品（四国中央市）、ホワイトフーズ（綾川町）、日本食研（今治市）、ハマダフードシステム（高松市）



当局堀口部長祝辞



留学生代表 挨拶



TV取材を受ける留学生

